

平成 16年4月22日

各 位

会 社 名 宇 部 興 産 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 会 長 兼 社 長 常 見 和 正
(コード番号 4 2 0 8 東証第1部・福証)
問 合 せ 先 経 営 管 理 室 IR 広 報 部 長 泉 原 雅 人
(T E L 0 3 - 5 4 1 9 - 6 1 1 0)

単独業績予想の修正に関するお知らせ

平成16年2月10日に公表いたしました平成16年3月期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成16年3月期単独業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想(A)	227,000	13,400	8,600	9,100
前回発表予想(B) (平成16年2月10日発表)	224,000	11,000	5,000	11,000
増減額(A - B)	3,000	2,400	3,600	1,900
増減率	1.3	21.8	72.0	-
(参考)平成15年3月期実績	229,272	12,148	6,644	4,058

2. 修正の理由

- ・売上高につきましては、機能性材料、医薬品・ファインケミカル製品、石炭の増収などにより、増加する見込みです。
- ・営業利益につきましては、機能性材料、医薬品の売上高増に加え、ポリオレフィン・ゴム製品を中心に、原料高に対応して製品価格への転嫁を強力に推し進めたこと、並びに固定費の削減等、直近の収益改善策の効果もあり、増益の見込みです。
- ・経常利益につきましては、営業増益に加え、技術料収入増、支払利息減等により営業外損益が改善し、営業利益に比べ増益幅が大きくなる見込みです。
- ・当期純利益につきましては、経常利益の増加により赤字幅が減少する見込みです。

なお、前回発表通り、固定資産の減損に係る会計基準の適用に伴い多額の減損損失を計上いたしますが、当損失を含む特別損益の主な内容は以下の通りです。

固定資産減損損失	101億円
投資有価証券評価損及び	
投資損失引当金繰入・取崩	81
土地・建物及び有価証券売却益	53
固定資産処分損	41
その他	36
計	208

固定資産減損損失、投資有価証券評価損及び投資損失引当金繰入の詳細については、別途、本日発表の「平成16年3月期 特別損失の内容に関するお知らせ」をご覧ください。

(ご参考)

平成16年3月期連結業績予想につきましては、決定次第ご報告申し上げます。

以 上